

令和6年度
農地等利用最適化推進施策に関する
意見書

佐賀市農業委員会

平素より、佐賀市農業委員会活動に対しましては、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年は「SAGA2024国スポ・全障スポ」が開催され、全国の注目を浴びているかと思われます。これを契機に佐賀市のPRの場として農産物、特産物のPRについても是非よろしくお願ひします。今後の佐賀市が明るい未来へと向かうことを期待しています。

昨今の農業、農村を取り巻く環境は、世界情勢の影響により、円安が進行し、農産物価格の低迷、農業資材価格の高騰に悩まされ、ますます農業経営が逼迫しています。

また、本市の農業問題につきましては、依然として、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の発生、有害鳥獣被害など様々な問題があり、将来的に農地保全や営農活動の継続が困難な状況であります。

これらの課題解決に向けて、当農業委員会では、「遊休農地の発生防止・解消」、「担い手への農地利用の集積・集約化」や「新規参入の促進」を行い、農地等利用の最適化推進を図っています。

さらに、農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い、昨年からはじめとする農家の方々等のご協力の下、「地域計画に係る目標地図の素案作成」に取り組み、現在、将来を見据えた農業の在り方について協議しているところであります。

佐賀市におかれましても、これらの課題解決に向けた施策を企画・実行していただき、農業所得の向上と農業経営の安定化を図り、持続可能な地域農業の確立に向けた取組の実施をお願いします。

つきましては、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、次の5項目について意見書を提出します。

- 1 稼ぐ農業の確立について
- 2 担い手の確保・育成について
- 3 農地の保全と利用促進について
- 4 地域内循環の促進について
- 5 “農”のあるまちづくりの推進について

令和6年9月30日

佐賀市長 坂井 英隆 様

佐賀市農業委員会
会長 大園 敏明

1 稼ぐ農業の確立について

本市の農業は、平坦地域では、「米、麦、大豆」による二毛作を中心とした土地利用型農業やたまねぎ等の露地野菜、トマト等の施設野菜栽培が盛んに行われ、中山間地域では、米やホウレンソウ等の施設野菜の生産が行われており、全国有数の高い耕地利用率を誇っています。

一方で、農業経営は、「農産物価格の低迷」「気象条件による品質の悪化や収量の減」「農業資材価格の高騰」など様々な影響により、非常に厳しい状況が続いています。

このような中、市内の農家からは、「ドローン資格取得等に関して、認定農業者でない者でも資格が取得しやすくなる様な啓発や補助金などの支援をお願いしたい。」、「スマート農業導入に対する周知活動及び手厚い支援をお願いしたい。」、「大規模化法人、認定農業者への集約化、スマート農業等の施策が進められているが、これまで農地を守ってきた地域の保全管理者がいなくなっている。」、「5年間に少なくとも1回以上、水稻の作付け、又は水稻作付け同等の水張りを行わないと水田活用の直接支払交付金の交付対象水田から除外されるのは、困る。」、「水田の畑地化を受け入れることは無理があるので、全国一律ではなく、それぞれの地域の特性、地形等にあった見直しについて国、県へ働きかけてほしい。」など様々な意見が寄せられています。

す。

このほか、「農産物の旬な時期だけPR活動販売促進活動を行ってもブランド品としての定着は難しい。6次産業起業により加工品として通年販売でき、名前を定着させる必要があるのではないか。」などの意見も寄せられています。

以上のことから、次の施策の拡充等をお願いします。

- (1) スマート農業の推進に係る支援等の拡充
- (2) 農地の集約化等による生産性の向上の促進
- (3) 「水田活用の直接支払交付金」の制度の見直しについて
国、県への要望
- (4) 農産物の付加価値を高めるための6次産業化の更なる推進

2 担い手の確保・育成について

現在、本市では、担い手の育成・確保に向けて「意欲的な女性農業者の育成」、「農外出身者の育成や企業参入の促進」、「集落営農組織の法人化の推進」、「認定農業者・認定新規就農者等への支援」など、様々な施策が講じられています。

一方で、わが国において少子高齢化による後継者不足という問題に長らく直面し、2050年には、9,500万人弱まで日本全体の人

口が減少するおそれがあり、将来の地域農業を担う後継者の確保、農地の安定的な受皿となる集落営農組織の法人化へ移行を促進することが喫緊の課題となっています。

このような中、市内の農家からは、「担い手の育成機関を作り、人材の発掘、育成研修等を行ってほしい。」、「行政やJAと協力して、新たな担い手の確保を目指した対策を検討してもらいたい。」、「農業機械の更新に対する支援を考えてほしい。」など様々な意見が寄せられています。

このほか、「農地の受け手として集落営農組織から農業法人への移行を検討するに当たり、ビジョンの作成、組織体制、経営等のノウハウがなく立ち止まっている状況なので、こういった課題を解決するための支援を検討していただきたい。」、「小規模農業者に大きく負担が掛かり、その農業者も減少しており、継続的に農業を続けていく担い手がいないので、施策が必要ではないか。」といった意見も寄せられています。

以上のことから、次の施策の支援等をお願いします。

- (1) JA等との連携による担い手の育成研修など新たな担い手の確保に向けた支援
- (2) 農業機械の更新に対する支援

(3) 集落営農組織の法人化への支援施策の検討

(4) 地域農業の維持に向けた小規模農家への支援

3 農地の保全と利用促進について

土地利用型農業が盛んな本市では、これまで、農業生産基盤の整備が進められてきましたが、近年、それらの施設等の老朽化が問題となっています。

市内の農家からは、「水路も埋まり悲惨な状況であるため、土地基盤整備計画の見直しや新たな基盤整備の枠組みをお願いしたい。」といった意見があります。

また、本市における農業被害の中でも依然として、平坦地域では、ジャンボタニシやカモ等、中山間地域では、イノシシ、アライグマ等による食害が続いており、農業収益の減少、営農意欲の低下などを招いています。

こうした状況から「イノシシ、アライグマの侵入により、ワイヤーメッシュの破損が多くあり、破損箇所の調査、復旧対策をお願いしたい。」「カモ、カラスによる食害があり、被害防除の対策を考えてほしい。」「ジャンボタニシによる水稻の被害が多い。」など様々な意見が寄せられています。

このほか、「猟友会の高齢化など抱える課題は大きいため、農地を守

る施策等を強く望む。」などの意見も寄せられています。

以上のことから、次の施策の検討等をお願いします。

- (1) 土地基盤整備計画の見直しや新たな基盤整備計画の検討
- (2) ワイヤーマッシュ破損箇所の復旧対策
- (3) 地域の被害状況に応じた有害鳥獣の対策及びカモ対策のテグス設置の強化
- (4) 水稻に悪影響を及ぼすジャンボタニシに関する基本的な対応策の周知
- (5) 有害鳥獣被害の防除等に関わる猟友会会員の高齢化などの課題に対する施策の検討

4 地域内循環の促進について

近年、消費者の食の安全・安心に対する関心が高まる中、市内の農家は、消費者に安心して食べてもらえる農産物の生産に努めており、市内の小売店や農産物直売所などでは、地元農産物の販売が積極的に行われています。

その一方で、農作物の自作等に興味を持つ市民がおり、それらの市民が、実際に自ら農産物を作る機会やそれに関連した情報を得る機会が少ないといった実態にあります。

このような中、市内の農家からは、「食と農の相互理解が深まるイベントや集まりを検討してほしい。」などの意見も寄せられています。

以上のことから、次の施策の推進等をお願いします。

(1) 食と農の相互理解が深まるイベントの推進

5 “農”のあるまちづくりの推進について

市内の農山村地域においては、人口減少や高齢化に伴い、地域経済の低迷や小規模集落、高齢者集落の増加による地域活力の低下を招いています。

ほ場整備等により、農業生産基盤は整備されてきたところですが、将来にわたって、安心して豊かに暮らせる農山村づくりのため、水路や農道を整備し、生活環境を改善していく必要があります。

一方、近年、農山村地域に対しては、市内外の都市市民を中心に、豊かな食・環境・観光等へのニーズが高まってきています。

このような中、市内の農家からは、「一般車両が農作業中、農道に入っ
てこられることが度々あり、困っている。農道は農作業のための道
だと思うので、徹底した周知をしてほしい。メディア等を用いて、周
知していただくと農作業の相互理解が深まるのではないか。」、「中山
間地域においては、農のある村づくりなど前向きな農業施策が取り組

みにくい地域であり、集落の維持管理などにこれまでの農業に関連した農地、堤（溜池）、集落の生活排水にも関わる水路等の維持、ほ場整備を実施しても投資効果もない地域での簡易の農地集約事業などの支援をしてほしい。」など様々な意見が寄せられています。

このほか、「川や堀に繁殖している外来水草（ブラジルチドメグサ、ナガエツルノゲイトウ）等の駆除をお願いしたい。」などの意見も寄せられています。

以上のことから、次の施策の強化等をお願いします。

- （１）安全・安心・快適な生活環境の整備に向けて、農村集落の
水路や農道の適切な維持管理と改修工事等の実施の強化
- （２）水路等に繁殖している外来種の水草の駆除強化